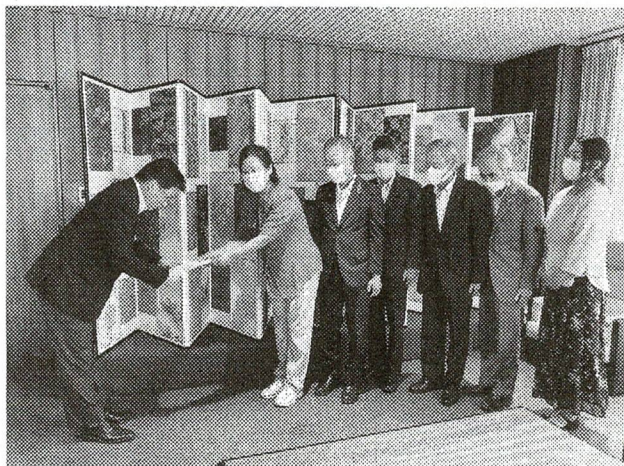


新型コロナウイルス感染症拡大(9波)への対応について市長申し入れ



20日コロナ感染症拡大への緊急申し入れ

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049



9月20日、日本共産党奥州市委員会(千田みつ子委員長)と奥州市議団は、倉成淳奥州市長に対して「新型コロナウイルス感染症拡大の第9波への対応について緊急申し入れ」を行いました。岩手県(9月6日公表分)で、1指定医療機関で全国最多(35,24)、その中でも奥州保健所管内(62,00)では県内最多となり、市内学校で学級閉鎖が6件、学年閉鎖1件と発生していることから緊急に申し入れを行いました。

申し入れ事項は、7項目18点です。

- ① 感染拡大の状況や医療現場の実態等を正確に積極的に市民に知らせること
- ② 感染防止対策の徹底を図ること
- ③ 検査体制の充実・強化をはかること
- ④ 病床の確保

- ⑤ ワクチン接種の促進と公費負担の継続、接種後の健康被害対策について
 - ⑥ コロナ後遺症対策の強化について
 - ⑦ 第8波の検証を国、県に求め今後の対策に生かすことなどです。
- 倉成市長・担当者は申し入れに対して次のように回答しました。
- 情報発信について徹底して行っていきたい。ホームページのトップページで発信に努めている。
- 検査体制について、高齢者施設等では県が検査キットを週2回配布しているが、無症状の方やショートステイでの持ち込みがある。
- 現在、毎週火曜日、民間病院、医師会、消防本部、保健所とウエブ会議を行っている。

「センターラインを引き直して」の声に応えるべきでないか?

今野裕文議員は、地域住民から「センターラインを引き直して欲しい」との声が寄せられている。センターラインが消えて見えないのは「道路標識、区画線および道路標示に関する命令(政令)」に反するのではないかと、速やかに引き直すべきでないかと質しました。

現在、調査を行っている

倉成淳市長は、区画線(センターラインなど)が消えかかっていることは認識していると、現在状況を調査し、全体事業量の把握を行い、予算を確保しながら引き直しを実施したいと回答しました。

今の予算では

できないのではないかと?

今野議員は、「交通安全施設整備事業(区画線)」の決算状況をみると平成28年(2200万円)から見ると大幅に減らされている。今の予算ではできないのではないかと、見解を質しました。

ひめかゆ温泉の存続を求める!



今野裕文議員は、経営難になっているひめかゆ温泉について、民間移譲の成果

について、質しました。

適切なタイミングでなかった

倉成淳市長は、令和3年3月に譲渡行い、指定管理料や施設修繕費など、年間で5千900万円の財政負担を軽減できた。一方で、(株)ひめかゆはの収支は、2年間で9000万円の赤字となったことを明らかにしました。新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化、物価高騰について想定でき

「予防保全」に戻したい

担当者は、現在消えかかったら引き直す「事後保全」で対応してきたが、全体計画をたて「予防保全」に戻せないか検討している。大卒の予算を把握して予算要求したいと答えました。

予防保全…消える前に定期的にラインを引くこと。

ず、結果的に適切なタイミングではなかったとの見解を明らかにしました。

継続できる支援をすべき

今野裕文議員は奥州市西部の観光振興の点から、ひめかゆ温泉が機能しなくなることはあってはならないとして、継続営業できるよう行政改革の観点からの「観光施設」でない位置づけが必要だとして見解を質しました。

継続した事業運営が図れる

倉成淳市長は、今回に限った追加支援により、継続した事業運営が図られると見込んだものと回答しました。